

何かを得ることは何かを失うことであり

何かを失うことは何かを得ることである

近代資本主義が誕生して約250年。経済学の父と呼ばれる
 アダム・スミス（1723-1790）は市場経済を動かすのは自らの利
 益を求める「利己心」であると説きました。その一方で経済
 活動に欠かせないものとしてもう一つの要素を『道徳感情論』
 の中で記しています。それは「共感」という概念です。経済活
 動の中で相手の不利益にも思いをいたし自分の行動を判断す
 る。それがスミスの言う「共感」です。それから200年余り
 が経過し、時にその「共感」を忘れ、ひたすら利益を追い求
 める現代の資本主義があります。

ご門主様が「念仏者の生き方」の中でお示しく下さいました



「和顔愛語（わげんあいご）」という言葉があります。他
 者に対して穏やかな顔と優しい言葉で接するという意味の
 言葉です。その言葉に続いて『仏説無量寿経』の中には「先
 意承問（せんいじょうもん）」という言葉が出てきます。
 相手の気持ちを慮って先回りして行動するという意味の言
 葉です。得か損かで行動していることの多い私達の生活で
 すが、私たちが何かを得ることで、誰かが何かを失ってい
 るということ虑ることが資本主義の経済活動にも欠かせ
 ないものであるとアダム・スミスは説いています。

「十方微塵世界の 念仏の衆生をみそなはし 摂取してす
 てざれば 阿弥陀となづけたてまつる」『浄土和讃』

親鸞聖人はこのご和讃の中の「摂取」という言葉に「も
 のの逃ぐるを追はへ取るなり」と意味を記されました。仏
 様のお心にかなう生き方が出来なくても、その私を決して
 見捨てずいつも見守って下さっているお方が阿弥陀様です。
 SMAPの歌に「らいおんはー」という歌があります。そ
 の歌の中に

「失ったものはみんなみんな埋めてあげる この僕に愛を
 教えてくれたぬくもり 君を守るためそのために生まれて
 きたんだ あきれるほどにそうさそばにいてあげる 眠った
 横顔 震える胸 Lion Heart」

という歌詞が出てきます。阿弥陀様は苦しみを抱え自
 分本位にしか生きられない人生を歩む私のために今、「南
 無阿弥陀仏」となつてはたらきかけて下さっています。